
つくば教会だより 2020年9月号

編集:カトリックつくば教会 〒305-0834 茨城県つくば市手代木 261-6
 TEL 029-836-1723 FAX 029-836-4136
 ホームページ <http://www1.accsnet.ne.jp/~mikokoro/>

「ミサの無い期間」

今年の3月からコロナウィルスのために、ミサが全く捧げられない期間が4か月も続きました。7月からやっと朝8時の英語ミサが始まりましたが、日曜日のミサは、1回のみという教区の指示で、日本語ミサは半年もお休みになっております。特に、日本人の信者は、とても寂しく思われていることと心配しております。

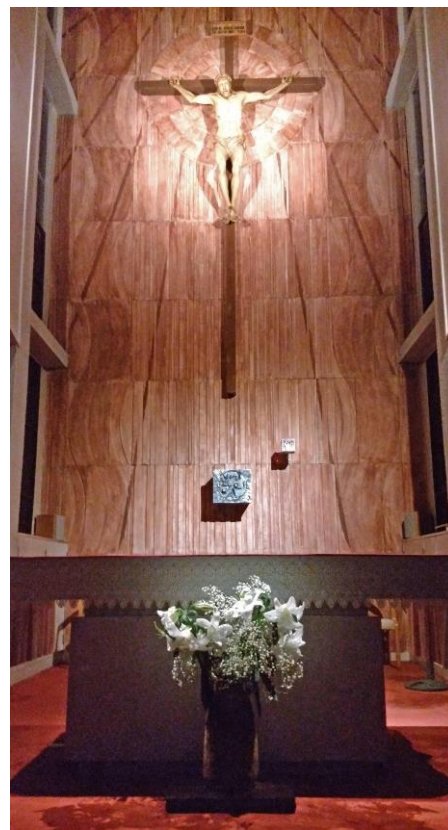
今月8月の教会役員会で、日本語ミサの再開について長時間話し合われましたが、司教様の指示待ちということに落ち着き、具体的に何時から日本語ミサが始められるかは、未定のままに終わりました。地区集会で顔合わせをしたらとの意見も出ましたが、やはりコロナが心配ですので、それもお流れになってしまいました。

9月からの司教様からの指示が未だ来ておりませんので、まず、それを待つことになりました。

この時期、家で過ごすのも大変と思いますが、神様がいつもそばに居てくださることを思い出しながら頑張っていけたらと思います。

つくば教会担当司祭

やまだ のりあき
 山田 宣明



例年行われている聖母被昇天ミサもなくひっそりとしたつくば教会聖堂
 (2020年8月15日撮影)

■信徒会より

◇つくば教会における英語ミサについて

つくば教会においては7月5日(日)8時から主日の英語ミサが再開されました。この英語ミサは9月も引き続き毎週日曜日8時から一回だけ実施されます。日本語ミサの信徒の方も、65歳未満の方または持病のない方は、事前登録をすることによって英語ミサに参加することができます。参加希望の信徒は下記FACEBOOKから事前登録(先着順50名までの制限あり)して、積極的にご参加ください。

<https://www.facebook.com/TsukubaCatholicChurch/>

なお、当日のミサ参加時には体温測定、アルコール消毒、マスク着用、social distanceの確保などのコロナウィルス感染予防対策の遵守をお願い致します。

◇役員会からの報告

1) 日本語ミサの再開について

7月より英語ミサが再開されたこともあり、長らく中断となっている日本語ミサの再開を切望する声が信徒の皆様から多く聞こえてきており、役員会で日本語ミサの再開について熱心な議論が行われました。

・日本語ミサの実施方法として、さいたま教区からミサ週1回に限定されていることから英語ミサの一部を中止して日本語ミサを実施する案、65歳以上の高齢者および持病をお持ちの信徒の方々のためのミサあるいは分かち合い集会祭儀を実施する案、地区集会としてのミサ、さらにはZOOMを活用したミサ(メッセージ)などが議論されました。

・ミサ等を実施する場合、現在の制約の中では65歳以上の高齢者は自粛ということになっており、ミサ等を実施するための種々の協力者(ボランティア)を65歳未満の信徒の皆さんにお願いすることになります。しかし、65歳未満の信徒の皆さんの多くは、自ら無症状感染者になる可能性を気にしながらも仕事に従事しておられ、協力者となった場合、高齢者への感染防止に多大な神経を使うこととなります。特に、医療従事者、介護関連従事者、学校、幼稚園・保育所などに従事される信徒の皆さんは、感染に対して職業上特段の注意が必要であり、多くの職場においては、ある程度以上の規模の集まりへの参加を禁止しているところが多いのも現実です。

・以上のことから、65歳以上の健全な高齢者によるボランティアがミサ等の実施には不可避と考え、茨城県使徒職協議会では、65歳から75歳未満の信徒のミサ参加を認めるようにさいたま教区に申請をしている状況です。教会だより発行当日時点では、さいたま教区からの新しい指示はないので、残念ながら、9月中の日本語ミサの再開は難しいと考えています。

2) 2020年1月~7月の小教区会計報告

新型コロナウイルス感染対策として、3月から6月の4ヶ月間全てのミサが中止されたため、昨年度比で教会費は36.7%減、ミサ献金は72.6%減と収入が大幅に減少しました。収入全体では42.3%の減少です。一方、支出額は1.6%の減少に留まっているため、7月末現在で196万円の累積赤字です。特にミサが無かった3月から6月に、月あたり50万円の赤字が積み上がっていきました。

7月から主日ミサが部分的に再開されましたが、教区費支出を月割りに均すと、7月単独では17万円の黒字という収支でした。回数・参加者を制限しているため、ミサ献金自体は平年の約1/3の規模ですが、一般献金はミサ中止期間中の赤字を心配してくださった皆さんの協力により7月だけで40万円を超える献金を頂戴しました。教会を介して感染を拡げないよう安全に留意しつつも、年末にむけて公開ミサを継続あるいはさらに拡大し、赤字幅をできるだけ圧縮できればと考えています。

3) 山田神父様金祝に関して

コロナ騒動で来年4月29日に予定している金祝ミサの実施は微妙な状況ですが、金祝の記念誌の作製は来年4月配布を目標に、神父様関連の皆様への原稿依頼(12月締切)、来年3月完成させること、また、別途写真集を作成してDVDとして配布する考えも了承されました。

4) その他

- ・コロナ騒動の継続により日曜学校は当分の間中止し、「こじか」の郵送のみ継続。
- ・年初に計画していた典礼当番表、お花当番表、お茶当番表は全てキャンセルとし、日本語ミサ再開時にあらためてお願いする事になりました。
- ・9月行事予定: 9月20日(日)10時半 役員会、9月26日(土)編集委員会

■信徒動静

◆**帰天** ミカエル烏山健治さんが8月17日帰天されました。烏山さんはつくば教会の礎を築いた信徒のお一人であり、また、つくば教会聖堂正面にある十字架像(前ページ写真)、聖ダミアン像、幼子を抱く聖マリア像(写真右)等をはじめ、優れた数多くの宗教彫刻を制作されました。烏山さんの天国での永遠の安息と残されたご家族の慰めと平安をお祈りください。

◆**転出** 白井志乃さんが東京教区麹町教会へ転出されました。どうぞお元気で。

